

Q'd

どこまでも
クオリティオリエンティッド

株主の皆さまへ

第76期中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日

境港バイオマス発電所



75th Anniversary
Since 1947

株式会社 東京エネシス

TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.

証券コード：1945

Q'd

Quality Oriented

Q'd(キュード)は、「どこまでもQuality Oriented」でありたいという考えを表したものです。Q'dとは、お客さまのために、社会のためにより良い提案をしていきたいと誓い合う言葉でもあります。



暮らしのより確かな基盤をつくる

ENERGY × SYSTEM



株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第76期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当社は本年8月14日に創立75周年を迎えました。また、同年10月14日には鳥取県境港市において、当社初の大型発電所である境港バイオマス発電所が営業運転を開始いたしました。これもひとえに株主の皆さまをはじめとするステークホルダーのご支援の賜物と心より感謝いたします。

本年7月にグリーンエネルギー事業本部を新たに発足しましたが、地域資源としての太陽光・水力・地熱・バイオガス等の再生可能エネルギーを活用した新たな課題発掘・解決型のビジネスを地域の皆さまと展開するとともに、境港バイオマス発電所を中核としたプラントのO&M（運転・保守）サービスやバイオマス燃料供給事業の更なる拡大を図ってまいります。請負工事を中心とした従来からの当社ビジネスに新たなモデルを本格的に展開することになります。

これからも当社の基本理念として「暮らしのより確かな基盤をつくる」を掲げ、築き上げてきた75年の伝統と未来を見据えた革新の融合により、全社一丸となって更なる企業価値向上に取り組んでまいります。

当期の中間配当につきましては、1株当たり15円の普通配当に創立75周年及び境港バイオマス発電所営業運転開始の記念配当として5円を加え、1株当たり20円とすることといたしました。

株主の皆さまにおかれましては、何卒今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

眞島俊昭

2022年12月

当中間期の概況

わが国経済は、社会・経済活動を正常化させるべくウィズコロナに向けた対策が実施され、企業における設備投資や個人消費に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、物価上昇、供給面での制約等による下振れリスクが存在し、不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く経営環境は、エネルギー資源高騰による電力業界の収益性悪化と電力設備投資の抑制が継続する一方で、世界的な脱炭素社会に向けた潮流の中で、省エネ・脱炭素化に向けた積極的な設備投資が見込まれております。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画（2021年度～2023年度）に基づき、「基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上」を図るため、本年7月に組織改編を実施し、地域・社会課題の発掘・解決を目的としたグリーンエネルギー事業を新たな柱として取り組んでまいりました。

具体的には、火力・原子力・水力発電所の建設・点検・保守、福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務や福島復興関連業務、原子力発電所の安全対策工事を着実に遂行するとともに、コージェネレーション分野や太陽光・水力・バイオマスといった再生可能エネルギー分野において、EPC（設計・調達・建設）からO&M（運転・保守）まで一貫したワンストップサービスをご提案するなど全国各地で受注活動を精力的に展開し、中・長期的な売上の拡大と利益の創出に努めてまいりました。

当社グループの受注高は、火力発電所の大型建設工事や保守工事、福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務が減少したことにより、253億46百万円（前年同期比49.1%減）となりま

した。一方、売上高は、電力需給安定確保に向けた休止火力の再稼働対応を含む火力発電設備の保守工事や大型建設工事の増加の他、水力発電所及び変電所工事の進捗により、377億71百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

利益面につきましては、売上高が大幅に増加したことにより、営業利益は14億10百万円（前年同期比696.7%増）、経常利益は14億51百万円（前年同期比569.2%増）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は8億86百万円（前年同期比792.9%増）となりました。

通期の見通し

当下半年の経営環境は、エネルギー資源高騰による電力業界の収益性悪化と電力設備投資の抑制等により引き続き厳しい状況にあります。

こうした情勢のもと、脱炭素社会の実現を成長の機会と捉え、新しいビジネスの創出による事業開発を通して、更なる新規顧客の獲得や事業領域の拡大を強力に進めてまいります。

通期の見通しとしては、福島第一原子力発電所の廃止措置関連業務や火力発電設備の建設工事等で着実な受注・売上が見込まれることから、年度当初に発表した業績予想から変更はございません。

また、2022年10月31日開催の取締役会の決議により1株につき15円の普通配当に、創立75周年及び境港バイオマス発電所営業運転開始の記念配当として5円を加えて、1株当たり20円の間配当を行うことといたしました。これにより中間配当を合わせた年間配当は1株につき35円を予定しておりますので併せてご報告申し上げます。

2021年度中期経営計画（2021年度～2023年度）

最重点課題

『基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上』

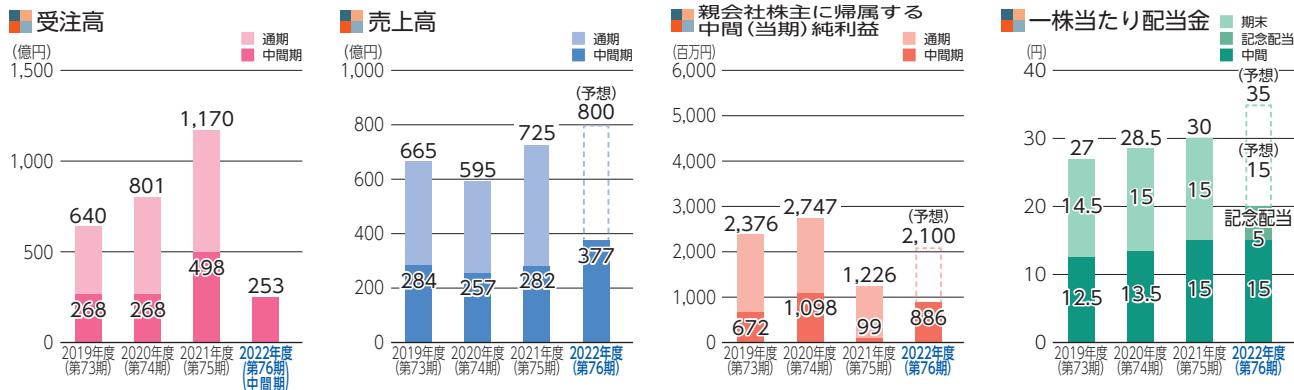
連結業績目標（2023年度到達目標）

受注高	900億円程度
売上高	800億円程度
営業利益	35億円程度
経常利益	35億円程度
親会社株主に帰属する当期純利益	25億円程度

重点目標

- I 設備工事を主体とした基盤事業の強靱化
- II 新事業領域の更なる拡大と収益力向上
- III 新たな環境価値創造へ寄与する技術力・競争力強化
- IV グループ組織力の最大化
- V 「キュードの価値観」を基盤とした企業風土の再構築
- VI 福島復興への継続的貢献

業績の推移（連結）



(注) 業績予想につきましては、2022年4月27日に発表したものです。

境港バイオマス発電所が営業運転を開始

2022年10月14日、当社の100%出資子会社である合同会社境港エネルギーパワーが鳥取県境港市において建設を進めていた境港バイオマス発電所は、予定通り営業運転を開始いたしました。

東京エネシスグループは、引き続き地元の皆さまのご理解とご支援をいただきながら、環境負荷低減に向けた発電所運営を行うとともに、地域経済の発展に貢献することで、担うべき社会的責任と役割を果たしてまいります。



ボイラ試運転時のスチームブローイングにより水蒸気が立ち上がる



ボイラの点検窓から見える炎

会津こもれびバイオマス発電所の起工式を開催

当社が出資する合同会社会津こもれび発電所は、福島県河沼郡会津坂下町で計画を進めている会津こもれびバイオマス発電所（以下、「本発電所」）の起工式を執り行いました。現在、基礎工事を進めており、来年8月頃には発電所本体工事に着手、営業運転開始は2024年12月を予定しています。

本発電所は、国産の木質チップ（未利用材、一般木材、建設廃材）を発電燃料とする出力規模7,100kWのバイオマス専焼発電所です。年間約5,000万kWhの送電量を見込んでおります。



刈初（かりぞめ）の儀：出資4社（左から2番目が当社真島社長）



会津こもれびバイオマス発電所パース図

お客様のカーボンニュートラル化に向けた取り組みに貢献

当社は、EPC*事業者として、事業主様から、設計、調達、施工、試験・試運転まで一括して受注しておりました三菱ふそうトラック・バス株式会社川崎製作所様向け「太陽光発電設備設置工事」を完成し、お客さまにお引渡ししております。

当社はこれまでも、同製作所様のエネルギー効率の向上、CO2排出量削減に向け、ガスエンジンコージェネレーションシステムをご提案し、ご採用いただいております。

今後もお客さまとともに環境負荷低減の取り組みを実施することで再生可能エネルギー分野へ積極的に事業展開してまいります。



三菱ふそうトラック・バス株式会社
川崎製作所様全景



増設分の発電電力は、1,530kW、年間
850トンのCO2排出量の削減に貢献

*EPC :

「Engineering, Procurement and Construction」の略で、日本語に訳すと「設計、調達、施工」

ヘビ型ロボット開発による廃炉支援 ～高放射線量下領域への挑戦～

当社は、東日本大震災以降、福島第一原子力発電所の廃炉作業支援のため、遠隔操作式ロボット等の開発を進めており、現在、狭隘部で活用できるヘビ型ロボットを、国立大学法人電気通信大学の田中基康教授と株式会社カナエ様の協力のもと開発しています。

このロボットは前の駆動輪の軌跡を後続の駆動輪が同じ軌跡をたどる動きをします。車輪部や関節部のすべてにモーターが配置され、回転角度（回転数）を制御しているためヘビのような動きになっています。この動きにより、内輪差が無くなり湾曲している狭隘部でも前進後進が可能となります。

当社は、引き続き多様な作業環境に対応できるように新たな視点での取り組みを進め、今後とも廃炉推進に貢献すべく、高放射線量下エリアでの作業ロボットの開発に挑戦していきます。



開発中のヘビ型ロボット

決算概要（連結）

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (2022年9月30日現在)	前中間期 (2021年9月30日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	57,751	57,222	59,614
現金預金	10,034	10,555	9,085
受取手形、完成工事 未収入金及び契約資産	32,627	32,327	40,121
有価証券	1,000	7,999	1,000
未成工事支出金	1,624	900	1,032
その他	12,465	5,439	8,373
固定資産	45,430	37,410	43,367
有形固定資産	(28,033)	(22,582)	(25,945)
建物・構築物	7,781	8,110	7,893
土地	8,229	8,142	8,140
建設仮勘定	10,650	5,022	8,638
その他	1,371	1,307	1,273
無形固定資産	(3,225)	(3,704)	(3,464)
のれん	268	340	304
顧客関連資産	2,166	2,568	2,367
その他	790	795	793
投資その他の資産	(14,171)	(11,123)	(13,957)
投資有価証券	10,422	8,979	10,076
その他	3,768	2,163	3,899
貸倒引当金	△18	△18	△18
資産合計	103,182	94,633	102,982

科 目	当中間期 (2022年9月30日現在)	前中間期 (2021年9月30日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	26,550	21,751	27,218
支払手形・工事未払金等	8,944	10,621	10,039
短期借入金	3,319	49	3,819
未払法人税等	578	157	701
契約負債	5,326	—	4,589
未成工事受入金	—	4,920	—
引当金	3,383	403	2,801
その他	4,997	5,598	5,266
固定負債	11,377	8,272	11,291
長期借入金	4,805	1,725	4,830
退職給付に係る負債	5,934	6,146	5,974
その他	637	401	486
負債合計	37,927	30,024	38,510
(純資産の部)			
株主資本	63,406	62,352	63,016
資本金	2,881	2,881	2,881
資本剰余金	3,978	3,972	3,972
利益剰余金	58,476	57,439	58,103
自己株式	△1,929	△1,940	△1,941
その他の包括利益累計額	2,079	2,376	1,614
その他有価証券評価差額金	2,029	2,298	1,804
為替換算調整勘定	50	78	△190
非支配株主持分	△232	△120	△158
純資産合計	65,254	64,608	64,472
負債・純資産合計	103,182	94,633	102,982

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
売上高	37,771	28,281	72,578
売上原価	33,592	25,575	64,002
売上総利益	4,178	2,706	8,576
販売費及び一般管理費	2,768	2,529	5,418
営業利益	1,410	177	3,158
営業外収益	254	377	417
営業外費用	213	337	317
経常利益	1,451	216	3,257
特別利益	0	1	312
特別損失	91	45	1,777
税金等調整前中間(当期)純利益	1,360	172	1,792
法人税、住民税及び事業税	488	62	1,285
法人税等調整額	36	59	△621
中間(当期)純利益	834	50	1,128
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益	△52	△48	△98
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	886	99	1,226

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	前中間期 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	4,475	1,694	△5,733
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,355	8,259	△385
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,039	△573	5,784
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△151	△150	97
現金及び現金同等物の 増減額	928	9,230	△237
現金及び現金同等物の 期首残高	9,025	9,264	9,264
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	—	1
連結除外に伴う現金及び 現金同等物の減少額	—	—	△2
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	9,954	18,494	9,025

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	当中間期 (2022年4月1日から2022年9月30日まで)					その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計					
2022年4月1日残高	2,881	3,972	58,103	△1,941	63,016	1,804	△190	1,614	△158	64,472
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△513		△513					△513
親会社株主に帰属する中間純利益			886		886					886
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		6		11	17					17
株主資本以外の項目の中間連 結会計期間中の変動額(純額)						225	240	465	△74	391
中間連結会計期間中の変動額合計	—	6	373	11	390	225	240	465	△74	782
2022年9月30日残高	2,881	3,978	58,476	△1,929	63,406	2,029	50	2,079	△232	65,254

株式の状況 (2022年9月30日現在)

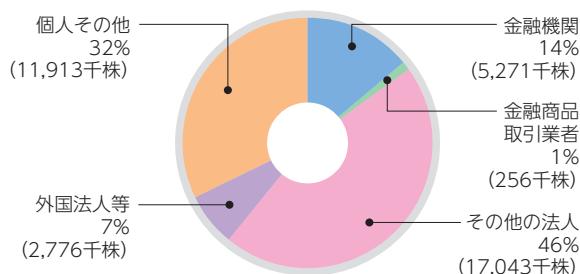
株式数 発行可能株式総数 72,589,000株
 発行済株式の総数 37,261,752株
 株主数 5,528名

大株主

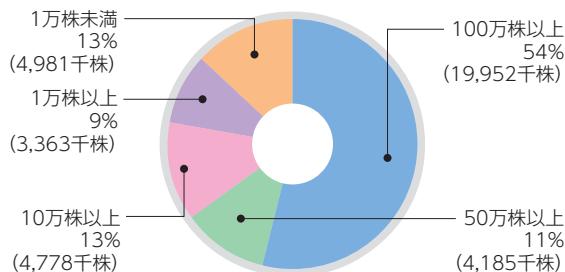
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東京電力ホールディングス株式会社	9,064	26.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,624	7.66
光通信株式会社	2,560	7.47
東京エネシス社員持株会	1,460	4.27
株式会社UH Partners 2	1,233	3.60
株式会社エスアイエル	824	2.41
太平電業株式会社	822	2.40
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	714	2.09
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	668	1.95
新日本空調株式会社	600	1.75

(注) 当社は、自己株式3,009千株を保有しておりますが、上記大株主への記載及び持株比率の計算から除いております。

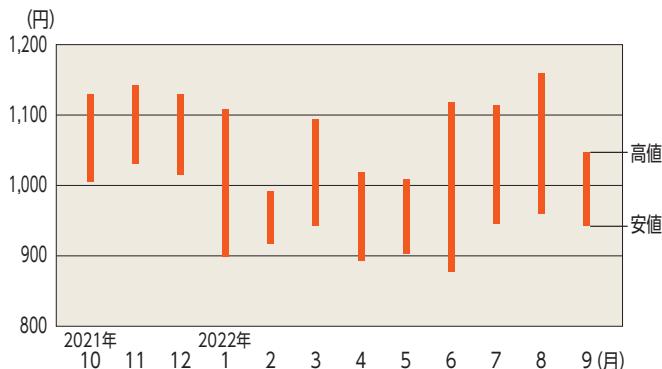
所有者別株式分布状況



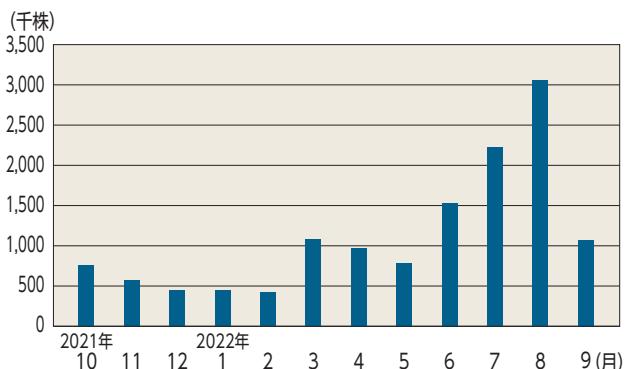
所有株式数別分布状況



株価の推移 (2021年10月～2022年9月)



株式売買高の推移 (2021年10月～2022年9月)



会社概要 (2022年9月30日現在)

<p>商号 株式会社 東京エネシス</p> <p>英文名称 TOKYO ENERGY & SYSTEMS INC.</p> <p>本店所在地 東京都中央区日本橋茅場町一丁目3番1号</p> <p>設立 1947年8月14日</p> <p>資本金 28億81百万円</p> <p>上場取引所 東京証券取引所 プライム市場 (証券コード 1945)</p> <p>従業員数 1,597名 (連結) 1,354名 (個別)</p> <p>営業種目</p>	<p>1. 発電電・送配電設備及び一般電気工作物の設計並びに施工</p> <p>2. 情報通信設備の設計並びに施工</p> <p>3. 化学機械・水処理設備その他設備の設計並びに施工</p> <p>4. 土木建築工事の設計並びに施工</p> <p>5. 上記に関連する設備の運転及び保守管理</p> <p>6. 機械器具、材料及び燃料の製造、販売及び賃貸</p> <p>7. 電気供給事業</p> <p>8. 労働者派遣事業</p> <p>9. 不動産の売買及び賃貸並びに管理</p>	<p>役員</p> <p>代表取締役社長 社長執行役員 眞島 俊 昭</p> <p>取締役 常務執行役員 堀 川 総一郎</p> <p>取締役 常務執行役員 海 野 伸 介</p> <p>取 締 役 田 中 等</p> <p>取 締 役 杉 町 真</p> <p>取 締 役 西 山 茂</p> <p>取 締 役 長谷川 園 恵</p> <p>取 締 役 常勤監査等委員 椎 名 真 司</p> <p>取 締 役 常勤監査等委員 稲 垣 宜 昭</p> <p>取 締 役 監査等委員 二 宮 照 興</p> <p>取 締 役 監査等委員 森 秀 文</p>
<p>事業所</p>	<p>京 浜 営 業 所 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-36-17 セントラルメゾン302</p> <p>千 葉 営 業 所 千葉県市原市五井6256-1</p> <p>茨 城 営 業 所 茨城県ひたちなか市西光地2-23-5</p> <p>福 島 総 合 支 社 福島県双葉郡大熊町大字熊字錦台180-1</p> <p>新 潟 支 社 新潟県柏崎市青山町字青山9-4</p> <p>青 森 支 社 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字弥栄平1-5</p> <p>溶接・検査センター 千葉県千葉市中央区蘇我町2-1369</p>	

主なグループ会社

会社名	資本金	主要な事業内容	会社名	資本金	主要な事業内容
東工企業株式会社	100百万円	不動産の賃貸及び管理並びに電線類の売買	Tokyo Enesys (Thailand) Co., Ltd.	490,000千 タイバーツ	発電機械設備の製造及び販売
株式会社バイコム	50百万円	機械装置・工具・車両等の賃貸及び売買	Admiration Co., Ltd.	2,000千 タイバーツ	発電機械設備の売買
株式会社テクノ東京	30百万円	発電設備の工事の請負	合同会社境港 エネルギーパワー	0百万円	バイオマス発電事業
株式会社東輝	10百万円	損害保険代理業	合同会社熊本 エネルギーパワー	1百万円	バイオガス発電事業
			合同会社北アルプス エネルギーパワー	0百万円	再生可能エネルギー発電事業

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人 (特別口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 https://www.tr.mufg.jp/daikou/ 電子公告 (http://www.qtes.co.jp/) による。 ただし、電子公告によることができない場合は 日本経済新聞に掲載する。
公告方法	

お知らせ

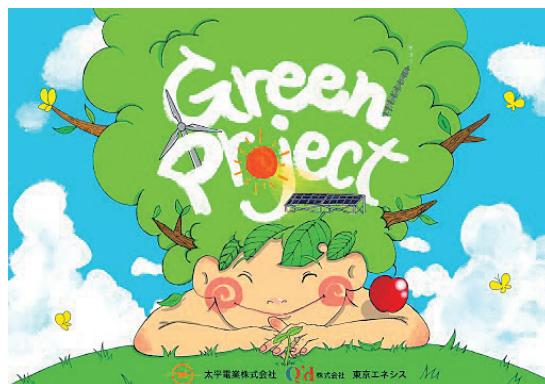
- 当社株式に関する手続き（住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種）につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっておりますので口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の電話及びホームページで承っております。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページアドレス

<http://www.qtes.co.jp/>

東京エネシス

検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

